

2023 年度 初級登山教室

9月10日 クライミング実技3 京都北山 金毘羅山（シングルロープ）

講 師 T内講師 N森講師

スタッフ Y田 K口

受講生 S藤 Y元R Y元A（記録）

金毘羅・北尾根でシングルロープ・マルチピッチシステムの練習。

スタッフ（リードクライマー）と受講生（フォロークライマー）がパーティを組み登攀。

2ピッチ終了後、休憩と昼食。

午後から雨予報で雲が出てきたため、13時過ぎに切り上げて下山。

一口感想

T内講師

久しぶりの岩登りなので簡単なルートでもスタンスの確認に手間取り、システムを再確認したので思いのほか時間がかかりました。マルチピッチのシステムは単純です。頭でイメージし、身体で完璧に覚えることが自分自身と相手（周囲やパーティ）の安全に欠かせません。これができないと本番ではパーティを組むことができません。

現地で装備を装着したら、すぐにメインロープでセルフビレイをします。

ロープに8の字結びをして自身のハーネスに連結します。

手袋をしてビレイループに環付カラビナと確保器を取り付け、ロープの下がビレイ点上がトップ（リード）へ送り出せるよう確保器と環付カラビナにロープを通します。

後はロープをたるませず流し、トップが落ちた場合にビレイをするという手順ですがまずは登攀開始までスムーズにできることが必要です。現地に行って、「どこでビレイをとるの？

8の字はどうやった？確保器にロープはどっちから入れるの？」と言った質問は論外です。

手厳しいことを言いましたが、クライミングは自分と相手の命がかかっていることを意識して楽しんでほしいと思います。

N森講師

クライミングは人と組んでやるものですから、自分の動作と相手の動作の関係をよく考え、次に何をすればいいのか、そしてなぜそれをする必要があるのか、十分に納得できるまで、他の人に説明するつもりで復習してみてください。

金毘羅のルートは支点のボルトが不十分なため、木に直接メインアンカーを取ることにになり、バックアップセルフビレイのセットを徹底できなかった点は、こちらの反省点です。

教室である限りは、形式的にであってもきちんと手順を踏むべきだったかと思います。

次回はダブルロープですので、シングルとの相違点を意識しながらトライしていただければと思います。

スタッフ Y田

クライミングの魅力は、スリルと爽快感、困難を乗り越えての達成感、特別な風景、自身の躍動感…
…でしょうか。

おまけに登攀能力が身につけば山での行動範囲が格段に上がります。

今日習ったことは宿題として、自宅で出来ることは復習し、繰り返しイメージトレーニングして定着させて次回に活用してください。

大丈夫、できます。

スタッフ K口

久しぶりのクライミングでしたが、怪我、事故も無く終えて良かったと思います。

課題としては、クライミングの頻度が少ないのでどうしても忘れる・勘違いが発生してしまいます。

重大事故につながる事も十分あり得ますので、N森さんが作ったレジュメを確認し、ロープワークに関しては youtube 等で予習や確認すると分かりやすく良いと思います。

受講生 S藤

講師さん、スタッフさんに恵まれて、クライミングのシステムから、実際のクライミング時の手足の動かし方までしっかり指導して頂きました。

煩雑なロープの扱いや操作の意味「なぜそうしないといけないのか」を考えると自ずと手順が見えてくる一、という講師さんの言葉が納得できたのが、今日の収穫でした。

受講生 Y元R

ナースコールが通じないというハプニングがありましたが、皆様のご協力のお陰でなんとか登攀することができました。2人の講師のビレイの様子を間近に見ることができ大変勉強になり、システムの理解がさらに深まりました。経験を重ね、自分もいつかはリードクライマーとして動けるようになりたいと決意を新たにしました。

受講生 Y元A

今回も聞こえない私たちにコールの情報の伝え方を色々工夫して下さいました。

例えば、声でのコールの代わりにナースコールを使用。

クライマーはナースコールをビレイヤーのY元には受信機とホイッスルを装着。

どのタイミングでナースコールやホイッスルを使用するのか、手順を何度もお互いに確認して臨みましたが残念ながら岩に遮られてか、受信ができませんでした。ですが、何度も確認した手順を思い出しながら、ロープのテンションがかかっているのに、ロールアップはもう終わっているかもしれない。セルフビレイを解除してホイッスルを吹き登り始めてみよう。ロープが引き上げられるのが伝わってくるのでこのまま進もうと言った感じで、スタッフの方に助けをもらいながらなんとか登攀することができました。

そこにはパーティとの事前の念入りな確認（ほとんど指導してもらっていますが）と信頼関係が大事だと改めて痛感しました。

繰り返しイメージトレーニングをしてデバイスやロープを常に側に置いて復習に励みたいと思います。今回も皆さまの多大なフォローのおかげで実りある講習となりました。